

事業の背景・目的

ミヤコタナゴ（以下、本種という。）は、本県を含むごく一部の限られた地域にのみ生息している。しかし、現存する生息地において少子高齢化による水路管理者の減少や、外来種の侵入等による生息環境の悪化に加えて、新たに近年では台風等による越流により生息水路外への逸出が懸念され、本種の生息が危ぶまれている。

これらの背景を踏まえ、越流等により逸出した本種への被害確認や、本種の生息地となりえる二枚貝生息地の保全を行うとともに、現存の本種の生息地において保全活動を実施し、以て本種の野生下における安定的な生息環境を保全する。

事業の内容

ア 生息地及びその周辺水域の水生生物調査

本種の生息状況を確認するため、電気ショッカー等により水生生物調査を実施した。

イ 本種生息地における保全

地域に精通している地元住民・保全団体と協力し、生息水路周辺の草刈り、ゴミ拾いを兼ねた巡視、水路内の泥上げ、除草を行った。また、水路床の搔起こしを行い、二枚貝の定着しやすい環境を整えた。

得られた成果

ア 生息地及びその周辺水域の水生生物調査

- ・生息地では例年並みの生息数を確認した。
- ・周辺水域において、本種の生息を確認したが、台風時の生息地からの逸出個体と考えられた。

イ 本種生息地における保全

地元住民・保全団体により巡視や草刈り、ゴミ拾いを行うことにより、生息地周辺環境が保たれ、併せて密猟の防止が図られた。また、地元と県・市が協同して泥上げを実施し、水路内の環境が二枚貝及びミヤコタナゴの生息しやすい環境を維持している。